



## 西木田 景志（にしきだ けいし）

新潟県出身。

講談社発行の『マガジン SPECIAL』でデビュー。

同誌の2011年9月号より『我妻さんは俺のヨメ』（原作：蔵石ユウ）を連載。

### ■わかりやすい作品づくりを心がける

—— マンガ家を目指すようになったきっかけを教えてください。

小さい頃、RPGゲームの『ドラゴンクエスト』に登場するスライムを良く描いていたんです。その絵を見た皆が「上手い！」と喜んでくれた事が嬉しくて、それがマンガ家を志すきっかけになりました。

—— 初めて描いた作品はどのような作品でしたか？

小学生の頃になりますが、先にも述べた『ドラゴンクエスト』に出てくるスライムが旅をするマンガでした。出来上がった作品をよく母に見せていましたね。

—— 一番影響を受けた、または印象に残っている作品を教えてください。

最も影響を受けた作品は、同じ新潟出身である和月伸宏先生の「るろうに剣心」です。

—— 日常生活の中でマンガに活かしている事をお聞かせ下さい。

映画を観たり、友達と話したりする事です。モチベーションが上がりますね。

—— 西木田先生が楽しみにしていられる事や趣味を教えてください。

『YouTube』や『ニコニコ動画』でおもしろい動画を探す事です。

—— 作品を作るにあたって、最も気を付けていることは何ですか？

わかりやすい作品づくりを心がけています。

### ■原作を元に自分の体験談のように描く

—— 現在「マガジン SPECIAL」で連載中の『我妻さんは俺のヨメ』ですが、原作者の蔵石ユウ先生とはどのように制作をされていますか？

僕は作画だけを担当しているので、作品のストーリー内容には関わる事はないんですよ。蔵石先生からいただいた原作を元にして、作画をしています。原作担当は原作の構想を、マンガ担当は作画をと、それぞれが務める担当ははっきりしていますね。

—— 登場人物の中で、先生ご自身を投影している設定や、先生が実際に体験した事が描かれている場面はありますか？

先にも言いましたが、原作は蔵石先生のものなので、自分の考えなどは加えていません。ですが、作画の際には“すべて自分が体験した事”という風に意識して描いています。

—— 主人公・青島等は夢を見る事でタイムスリップをして、その都度未来が変わっていますが、この発想はどのように生まれたと聞いていますか？

編集と原作者が、打合せをしながら決めたそうです。

—— 「ここに注目して読んでほしい」というポイントをお聞かせ下さい。

やりつくされた“タイムスリップもの”の盲点をついた作品です。原作者さんは落語が好きなようで、話のオチのつけ方がべらぼうに上手いので、そこに注目してみると面白いと思いますよ。

## ■色々な人の考えに触れて、自分の価値観を磨いて下さい

—— 作家活動を続けていくにあたって、大事にしていこうと思う事を教えてください。面白いマンガをたくさん読むことと、それを何回も読み返すことです。

—— これからマンガ家を目指す方へのアドバイスはありますか？

とにかく頑張ってください。僕が見てきたマンガ家の方々は、みんな“突き抜けた武器”を持っていると感じています。これからマンガ家を目指す方達にもそれぞれ持ち味があると思いますが、それだけでは武器になりません。マンガにおける個性とは“知性に裏付けされたもの”でなければならないからです。

ですから、たくさん映画を見たり本を読むこと、マンガ制作の基礎を理解すること、色々な人の考えに触れて、自分の価値観を磨くことに励んで下さい。時にはうまくいかない時期が続くこともあると思いますが、それでも落ち込まずに描き続けることが大切だと思います。そして、成功したとしても、慢心しないよう心がけて下さい。

—— 最後に読者へのメッセージをお願いします。

この度は読んでいただきありがとうございます。マンガの方も、これからもっと楽しめる作品になると思いますので、蔵石先生共に応援宜しくお願いします。



© 蔵石ユウ・西木田景志 / 講談社